インスタンスシャットダウン問題対応 参考資料

目次

1 はじめに	3
2 前提条件	3
3 WEB サーバの台数を調整する	3
4 NRPESERVER を設定する	3
4.1. NRPE SERVER の設定ファイルを構成管理の対象にする	
4.2. 監視サーバのホストの設定	3
4.3. NRPESERVER の設定ファイルの確認をする	4
4.4. NAGIOS の設定ファイルの確認をする	4
4.5. CHECK_NREP の実行結果をログに出力する設定をする	6
4.6. NRPESERVER の設定ファイルを更新する	7
5 WEB サーバの停止と自動復旧	9
5.1. EXEC_WEBNODEの作成	
5.2. WEBサーバを停止する	
5.3. NAGIOS の管理画面から復旧ログを確認する	
5.3.1. Web サーバの Status が DOWN していることを確認する	
5.3.2. イベントログで監視結果を確認する	
5.4. 監視サーバでログを確認する	
5.5. デプロイサーバでログを確認する	
図の索引	
図 1 監視対象一覧	10
図 2 WEBSERVER002の確認	
図 3 WEB サーバの停止の確認	
図 4 WEB サーバの停止イベントの確認	
図 5 EVENT HANDLER の確認	13

1はじめに

この手順書は不意にインスタンスタンスがシャットダウンした時、Nagios の監視によって、自動的に Web サーバが起動するための手順書です。

2前提条件

- 「PuppetMCollective による自動化」が完了していること
- 「NagiosGangliaを用いた監視の設定」が完了していること
- 「掲示板アプリケーションのスケールアウト」が完了していること

3Web サーバの台数を調整する

Web サーバの台数を2台にする。

add webnode.sh または、delete webnode.sh を利用して、Web サーバの台数を2台にします。

4NRPEServer を設定する

4.1.NRPE Server の設定ファイルを構成管理の対象にする

Nagios の Plugin をデプロイサーバ上で実行するために、NREP Server の設定をします。

以下のコマンドはデプロイサーバで実行します。

NRPE Server の設定を有効にする。site.pp の199行目付近の include nrpe_server のコメントをはずす。

deploy# vi /etc/puppet/manifests/site.pp

修正前

include gmond

#include nrpe_server

修正後

include gmond

include nrpe server

4.2.監視サーバのホストの設定

デプロイサーバが NRPEServer からの通信を許可するために、hosts の設定をします。

監視サーバの IP アドレスを取得する。

deploy# mco facts ipaddress -F fqdn=/^monitor/

実行結果

Report for fact: ipaddress

10. 3. 7. 146

found 1 times

Finished processing 1 / 1 hosts in 25.26 ms

監視サーバの IP アドレスを hosts に設定する。

deploy# vi /etc/hosts

実行結果

127. 0. 0. 1 localhost. localdomain localhost

127. 0. 0. 1 deploy. nii. localdomain

「監視サーバの IP アドレス」 monitor.nii.localdomain

4.3.NRPEServer の設定ファイルの確認をする

Nagios と通信するために NRPEServer の Config が正しく設定しているか確認をします。 この設定をすることで、Nagios が障害を検知したとき、デプロイサーバ上の NRPEServer が Nagios の Plugin を実行することができます。

以下はデプロイサーバで確認します。

設定ファイルを確認する。

deploy# vi /etc/puppet/templates/etc/nagios/nrpe.cfg

nrpe.cfg

#78行目付近 許可しているホストに monitor. nii. localdomain を指定する。 allowed hosts=monitor. nii. localdomain

#93行目付近 check_nrpe コマンドから引数を受け取る許可をする。 dont_blame_nrpe=1

#202行目付近 check_webnode プラグインを有効にする。
command[check_webnode]=/usr/lib/nagios/plugins/niideploy/plugins/nagios/check_webnode \$ARG1\$ \$ARG2\$ \$ARG3\$

4.4.Nagios の設定ファイルの確認をする

Nagios から Web サーバへ Ping を送り、応答がなかった場合に、イベントが発生します。イベントを発生するための、event_handlerの設定の確認をおこないます。

以下はデプロイサーバで確認します。

ngaios.cfg

deploy# vi /etc/puppet/templates/etc/nagios/nagios.cfg

実行結果

```
#52行目付近 enable_event_handler が1がセットしていることを確認する。
enable_event_handlers=1
```

web.cfg

deploy# vi /etc/puppet/templates/etc/nagios/servers/web.cfg.erb

実行結果

```
#47行目付近 check_webnode コマンドが定義されていることを確認する。
define command{
     command_name check_webnode
     command line $USER1$/check nrpe -H deploy.nii.localdomain -t 60 -c
check_webnode -a $SERVICESTATE$ $SERVICESTATETYPE$ $SERVICEATTEMPT$ >>
/var/log/nii-monitor.log
#84行目付近 Web サーバの監視項目に PING が追加されていることを確認します。
#86行目付近 event_handler に check_webnode が指定されていることを確認します。
define service{
       use
                                    web-service
                                                      ; Name of service
template to use
       hostgroup_name
                          webservers
       service_description
                           PING
       check_command
                          check_ping!100.0, 20%!500.0, 60%
                             check_webnode
       event_handler
       max_check_attempts
                                    1
```

4.5.check_nrepの実行結果をログに出力する設定をする

web.cfg で定義した check_webnode コマンドの実行結果をログに出力設定をします。 以下のコマンドは監視サーバで実行します。

nii-monitorログを作成する。

monitor# touch /var/log/nii-monitor.log

実行権限を付与する。

monitor# chmod 666 /var/log/nii-monitor.log

4.6.NRPEServer の設定ファイルを更新する

確認した nrpc.cfg ファイルを更新します。 以下のコマンドはデプロイサーバで実行します。

MCollectivClient を使ってデプロイサーバの設定ファイルを更新する。

deploy# mco puppetd runonce -I deploy.nii.localdomain -v

実行結果

```
* [ ========> ] 1 / 1
deploy.nii.localdomain
                                  : 0K
   {:output=> "Signalled daemonized puppet agent to run (process 999);
Currently idling; last completed run 1246 seconds
ago", :status=>"idling",
                                       :running=>0,
                                                          :idling=>1,
                         ∶enabled=>1,
  :stopped=>0. : lastrun=>1332688527}
---- puppetd#runonce call stats ----
         Nodes: 1 / 1
    Pass / Fail: 1 / 0
     Start Time: Sun Mar 25 15:36:13 +0000 2012
 Discovery Time: 0.00ms
     Agent Time: 54.55ms
     Total Time: 54.55ms
```

MCollectiveClient を使用して nrpe サーバを再起動する

deploy# mco service nagios-nrpe-server restart -I deploy.nii.localdomain -v

_ 実行結果	
* [===================================	·>] 1 / 1
deploy.nii.localdomain OK	status=stopped
service summary Nodes: 1 / 1 Statuses: stopped=1 Elapsed Time: 0.78 s	

deploy# mco puppetd runonce -I monitor.nii.localdomain -v

実行結果

```
* [ =======> ] 1 / 1
monitor nii localdomain
                               : OK
\{:stopped=>0, :status=>"idling", :idling=>1, :running=>0,
                                                                         ∶outpu
t=> "Signalled daemonized puppet agent to run (process 1161); Currently
\begin{array}{lll} \mbox{idling:} & \mbox{last} & \mbox{completed} \\ \mbox{ago",} & \mbox{:lastrun=>}1337761999, & \mbox{:enabled=>}1 \end{array} 
                                                              944
                                                 run
                                                                           seconds
---- rpc stats ----
           Nodes: 1 / 1
     Pass / Fail: 1 / 0
      Start Time: Wed May 23 08:49:03 +0000 2012
  Discovery Time: 0.00ms
      Agent Time: 52.03ms
      Total Time: 52.03ms
```

MCollectiveClient を使用して nagios を再起動する

deploy# mco service nagios3 restart -I monitor.nii.localdomain -v

実行結果

```
monitor.nii.localdomain
                          : 0K
{:stopped=>0, :status=>"idling", :idling=>1, :running=>0,}
                                                           :outpu
t=> "Signalled daemonized puppet agent to run (process 1161); Currently
idling;
             last
                        completed
                                                  944
                                                            seconds
                                       run
---- rpc stats ----
        Nodes: 1 / 1
    Pass / Fail: 1 / 0
    Start Time: Wed May 23 08:49:03 +0000 2012
 Discovery Time: 0.00ms
    Agent Time: 52.03ms
    Total Time: 52.03ms
```

以上で NRPEServer の設定は完了です。Nagios がシャットダウンを検知したら、デプロイサーバ上でスクリプトが実行されます。

5Web サーバの停止と自動復旧

Web サーバを停止後、Nagios が Web サーバを自動起動し復旧するまでの手順です。

- 1. Nagios の Hosts に表示されている webserver002のサーバを停止します。
- 2. Nagios が PING 監視しており、Web サーバが停止したため、ステータスが OK から CRITICAL に変わります。
- 3. ステータスが CRITICAL に変更後、Service で定義されている event_handler が呼ばれ、デプロイサーバが NRPE プラグインを実行されます。
- 4. NRPE Server が check_webnode プラグインを実行します。
- 5. check_webnode プラグインは引数にとった、SERVICESTATE、SERVICESTATETYPE、SERVICEATTEMPTを評価します。
- 6. SERVICESTATE が CRITICAL、SERVICESTATETYPE が HARD、SERVICEATTEMPT が1 の場合に、mcollective-client によって exec_webnode コマンドが実行され、Web サーバを1台起動されます。

5.1.exec_webnode の作成

自動復旧の最後で、実行される、exec_webnodeのプログラムを修正してください。 このプログラムはサーバを1台実行するためのプログラムです。

exec_webnode を修正する。

以下はサンプルコードです。

deploy# vi /root/work/deploy/plugins/nagios/exec_webnode

exec_webnode

#!/bin/bash

LB から停止した Web サーバをとりのぞく

現在起動中の Web サーバの IP アドレスを取得しリストを作成する

mco facts ipaddress -F fqdn=/^web/ -j | /root/work/deploy/bin/retrieve ip mco -- format file > /var/tmp/nginx/nginx.ipset

設定ファイルを更新する

mco puppetd runonce -F fqdn=/^lb/ -v

nginx をリスタートする

mco service nginx restart -F fqdn=/^lb/ -v

Web サーバを1台起動する。

cd /root/work/deploy/task/

./add webnode.sh >> /var/log/nii-deploy.log &

exit 0

add webnodeの出力結果用ファイルを作る。

deploy# touch /var/log/nii-deploy.log

deploy# chmod 666 /var/log/nii-deploy.log

5.2.Web サーバを停止する

ブラウザから Nagios を表示する。

http://[監視サーバのパブリック IP アドレス]/nagios3

Nagios の Current Status > Hosts をクリックし現在の監視対象一覧を表示する。

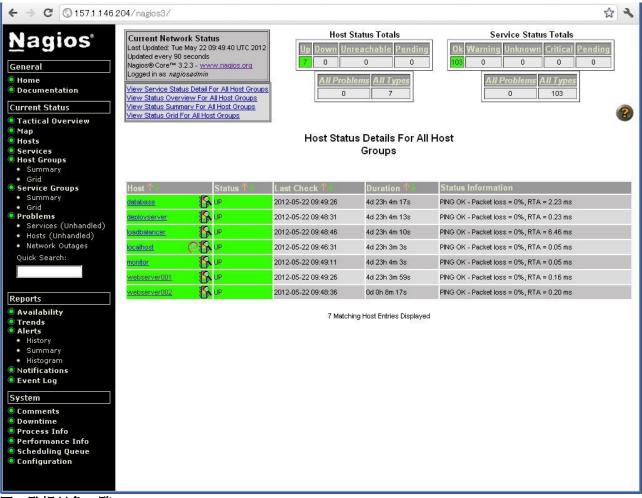


図1監視対象一覧

今回は webserver002を停止する。 webserver002をクリックし詳細情報を表示し IP アドレスを確認する。

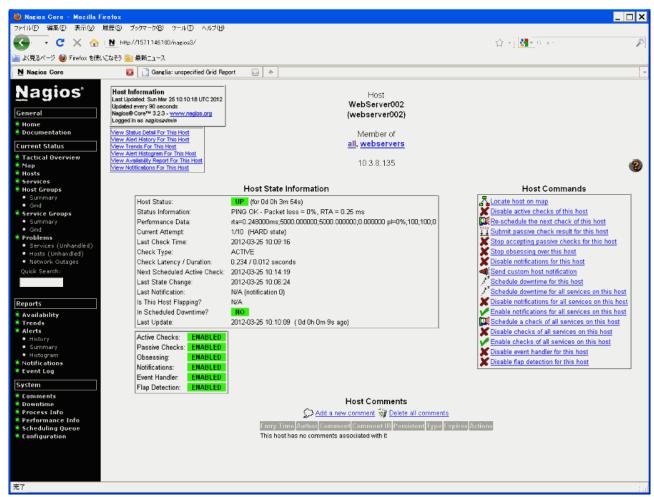


図 2 WebServer002の確認

確認した IP アドレスを元に CloudClient から webserver002を停止する。

5.3. Nagios の管理画面から復旧ログを確認する

5.3.1.Web サーバの Status が DOWN していることを確認する

Current Status > Hosts を表示し、Web サーバの Status が DOWN していることを確認する。

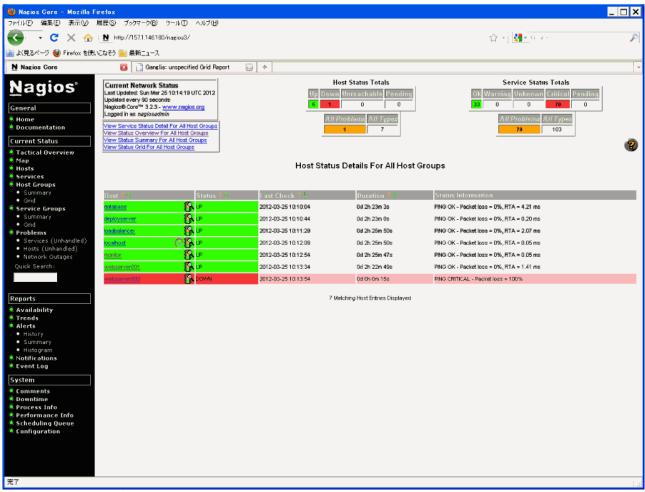


図3Webサーバの停止の確認

5.3.2.イベントログで監視結果を確認する

Reports > Eveng Log を表示し、イベントログを確認する。

Webserver002が停止したことを確認する。

Service Critical[2012-03-25 10:14:44] SERVICE ALERT:

webserver002;PING;CRITICAL;SOFT;2;CRITICAL - Host Unreachable (10.3.8.135)

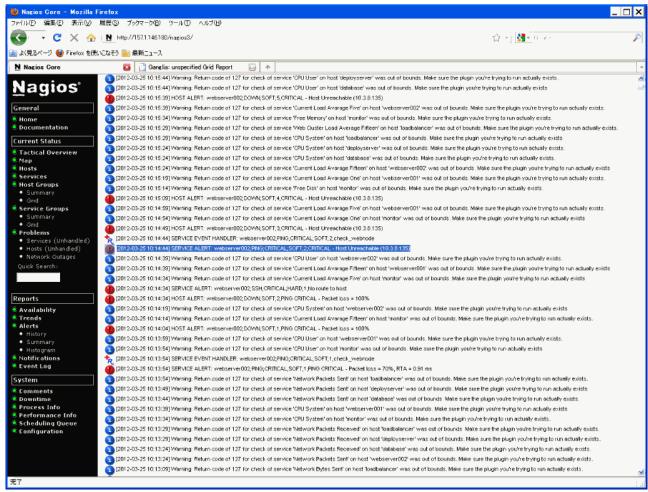


図 4 Web サーバの停止イベントの確認

Nagios が EVENT HANDLER を実行したことを確認する。

SERVICE EVENT HANDLER: webserver001; PING; CRITICAL; HARD; 1; check_webnode

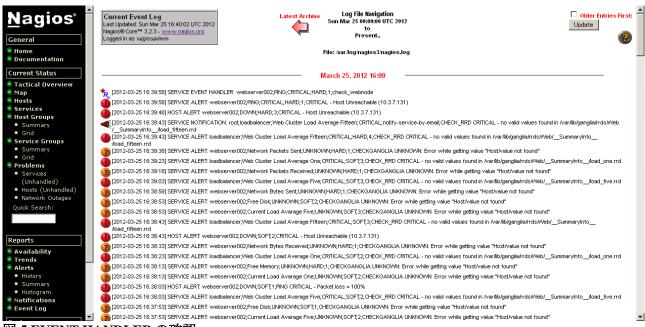


図 5 EVENT HANDLER の確認

5.4.監視サーバでログを確認する

監視サーバ上の Nagios の check_nrpe プラグインが動作したことを確認します。

以下は監視サーバ上で実行します。

5.4.1.check_webnode コマンドが実行されたことを確認する。

Tail コマンドを使い check_nrpe が実行されたことを確認する。

monitor# tail /var/log/nii-monitor.log

実行結果

1 / 1

[deploy.nii.localdomain] exit=0: [1332693598] Success add webnode

[1332693598] Request Service: CRITICAL HARD

イベントハンドラーが実行されたことを確認する。

monitor# tail -f /var/log/nagios3/debug.log

実行結果

Running command '/usr/lib/nagios/plugins/check_nrpe -H deploy.nii.localdomain -c check_webnode -a CRITICAL HARD 1 >> /var/log/nii-monitor.log'...

5.5.デプロイサーバでログを確認する

デプロイサーバ上で exec_webnode が実行されたことを確認します。

Tail コマンドを使い exec_webnode が実行されたことを確認する。

deploy# tail -f /var/log/nii-deploy.log

実行結果

launch instance: i-3E6A0840

I, [2012-03-25T17:07:10.304963 #6297] INFO -- : New RightAws::Ec2 using single-

threaded mode

I, [2012-03-25T17:07:20.310280 #6297] INFO -- : Opening new HTTPS connection to

vclc0006.ecloud.nii.ac.jp:8773 instance state running i-3E6A0840

running instance

mail server: 10.3.7.143 db server: 10.3.7.142

I. [2012-03-25T17:09:45.461582 #6341] INFO --: New RightAws::Ec2 using single-

threaded mode

I. [2012-03-25T17:09:45.472120 #6341] INFO --: Opening new HTTPS connection to

vclc0006. ecloud. nii. ac. jp:8773

retry connection 10.3.7.131 Starting mcollective: * Starting puppet agent (中略) monitor.nii.localdomain status=running 0K ---- service summary ----Nodes: 1 / 1 Statuses: started=1

Elapsed Time: 16.23 s